

加盟大学航空部長
指 導 員 殿
各大学航空部主将

財団法人日本学生航空連
専 務 理 事 熊谷 功二
教育訓練部長 中村 暢宏

夏季合宿実施の注意喚起

滑空機事故が多発した2005年を知る現役学生は4年生だけになりました。滑空界全体としては2006、2007年と徐々に落ち着きつつありますが、連盟内では昨年1名の学生が亡くなり、2名の訓練生と教官が重傷を負う事故が発生しています。また、本年7月20日には、加盟校外の事故ですが、ウインチ曳航の初期に曳航索のトラブルが発生し、曳航を中断後に滑空機が失速してハードランディング、搭乗者が重傷を負う事故が栗橋大根滑空場で発生しました。昨年、今年とウインチ曳航中に発生した事故が続発しています。

連盟の加盟学生数も昨年より少し上向きになりつつあります。グライダー活動を希望して入部した1年生が、4年間の活動を続けていける環境づくりが必要です。

下記のように「夏合宿での注意喚起」と「ウインチ曳航に関する注意喚起」をまとめました。計画段階から余裕を持って夏合宿を実施して下さい。

記

夏合宿実施の注意喚起

- (1) 昨年の暑さをもたらしたラニーニャは消滅したようですが、温暖化の影響で異常気象が予想されます。十分な睡眠や日中の休息を取り、暑さによる疲労と熱中症（熱射病、日射病等）に気を付けて下さい。
- (2) 世界中で異常気象が発生しています。訓練中も気象情報を入手し、台風情報や日中の雷雲情報には十分注意を払い、早めの対応をお願いします。
- (3) 各訓練所での生活指導、滑空場の維持管理、飛行に際して訓練開始前の点検事項の実施・確認の徹底をお願いします。

ウインチ曳航に関する注意喚起

- (1) 各校指導者、ウインチ曳航者、並びにピストに従事する者は、次回合宿の集合日にウインチ曳航時の緊急操作についての再確認を実施すること。
- (2) 各校指導者は、ウインチ曳航で単独飛行を実施する者に対して、次回の単独飛行実施前までにウインチ曳航時の緊急操作についての講習を実施すること。

参照 URL : <http://www.sakitama.or.jp/jsal/manual/index.html>